

農地中間管理事業との連携概要 記載例

〇〇県△△市 □□区域 (◎◎地区)

※ □□区域は地域計画の策定区域名 (予定可)、◎◎地区は農地耕作条件改善事業の地区名を記載

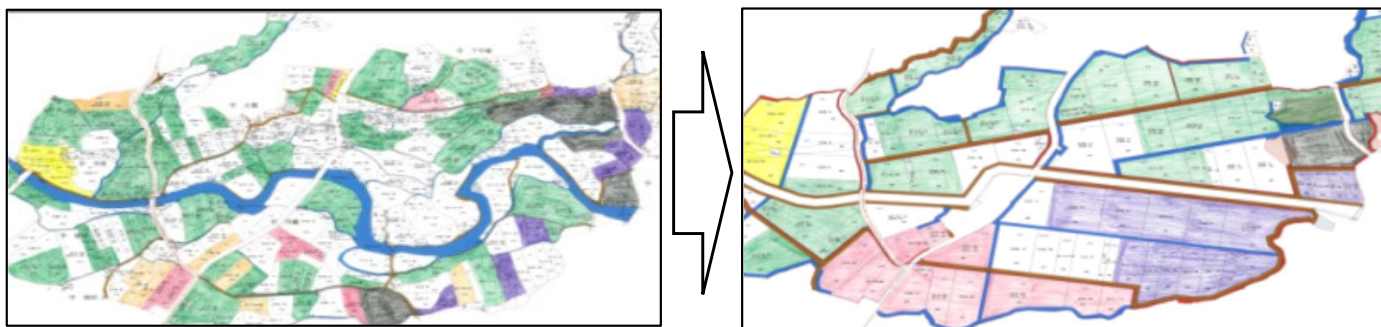
1. 農地中間管理事業の進め方 (該当する箇所に○を記載) ※複数回答可	
○	① 市町村・各地域の人・農地の状況の把握からのアプローチ
	② 公募に応募した受け手のニーズの把握からのアプローチ
	③ 法人・認定農業者などの担い手のニーズの把握からのアプローチ
必須	④ 基盤整備 (簡易整備を含む) からのアプローチ

2. 地域の概要

・□□地区は、△△市のほぼ中心に位置し、AA川水系のBB川沿いに広がる平野部で市の中心的水田地帯となっているが、小区画・不整形で耕作農地が各所に分散していることから、効率的な水田作を実現するため、「農地耕作条件改善事業 (◎◎地区)」による大区画化と農地中間管理事業による集積・集約化を行うものである。

・□□地区のある△△市は中山間地域であり、安定的な農業経営を実現するためには水田作から高収益作物への転換が効果的であることから、「農地耕作条件改善事業 (◎◎地区)」により一部高収益作物への転換を図りつつ、大区画化等よりに農地中間管理機構による集積・集約化を行うものである。

3. 機構の活用イメージ (農地利用図)



注1: 地域計画の策定区域の範囲及び農地耕作条件改善事業の受益範囲を明記すること。  
 注2: 他事業 (国営事業、都道府県営事業等国費が投じられている事業のこと) と組み合わせる場合はその受益範囲を明記すること。

【活用前 (令和〇〇年)】		備考
① 機構から転貸を受ける担い手の集積面積及び集積率	○. Oha、○%	
② 機構から転貸を受ける担い手の平均経営面積	○. Oha/○経営体	
③ 機構から転貸を受ける担い手が利用する団地数	○箇所	
④ 機構から転貸を受ける担い手が利用する団地の平均面積	Oha/1団地	
【活用後 (令和〇〇年)】		備考
① 機構から転貸を受けた担い手の集積面積及び集積率	○. Oha、○%	
② 機構から転貸を受けた担い手の平均経営面積	○. Oha/○経営体	
③ 機構から転貸を受けた担い手が利用する団地数	○箇所	
④ 機構から転貸を受けた担い手が利用する団地の平均面積	〇〇Oha/団地	
⑤ 機構から転貸を受けた新規就農者数	○人	
⑥ 機構から転貸を受けた参入企業数	○法人	

注3: 団地: 連続して作付けができるほ場

4. 機構の活用に関しての創意工夫があれば、記載してください。

地域内農地集積促進計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体 〇〇〇〇 指導事業（〇〇）	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等
事業実施期間	/	地域計画の策定区域名	策定期間（予定）

農地中間管理機構による地域内（受益地内）の担い手への農地集積の推進に向けた取組方針

・区画拡大や営農環境整備事業、維持管理の省力化を実施するとともに、先進的の省力化技術を導入し、生産コストの低減に取り組むことで、事業実施区域において農地中間管理機構による担い手への農地の賃貸借面積を向上させる等の農地中間管理機構による地域内の担い手への農地集積に向けた取組方針を記載。

事業概要

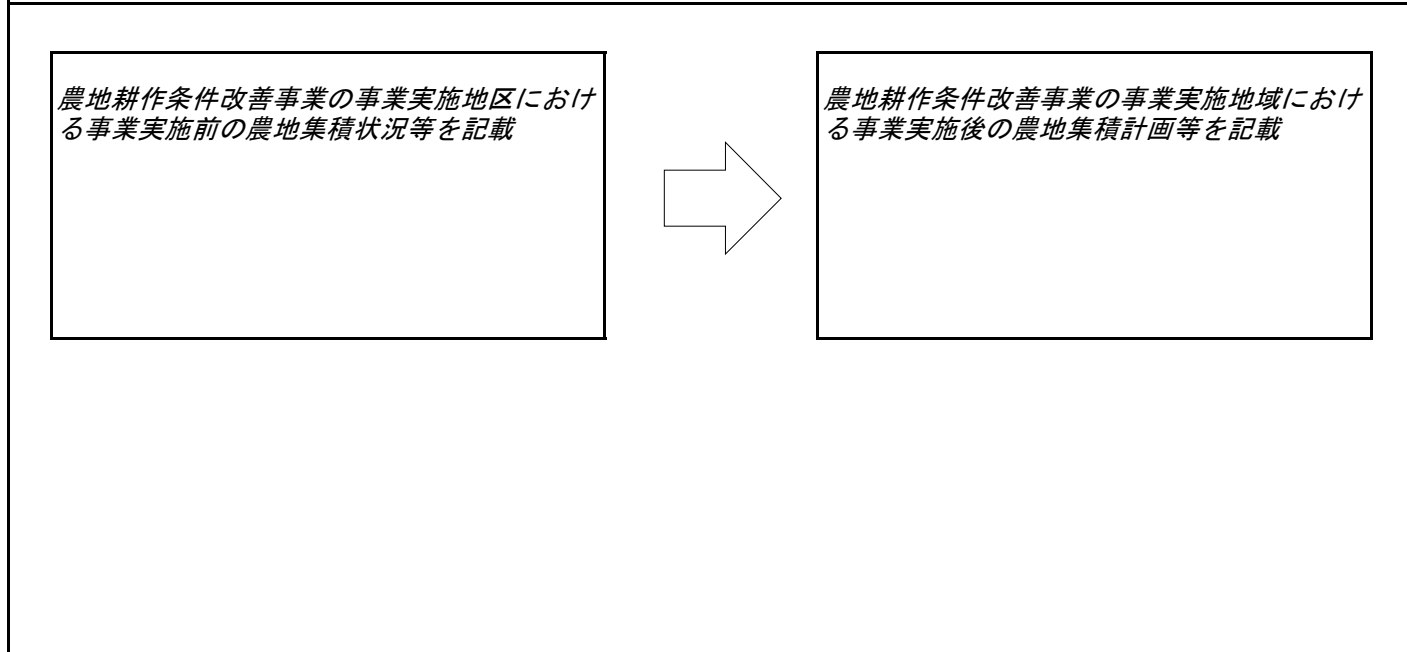
受益面積：水田〇〇a、畑地〇〇a、樹園地〇〇a  
 総事業費：〇〇百万円  
 受益者数：〇〇者

農地集積に係る目標

地域内農地集積促進計画の目標年度：R〇〇年度

	事業実施前	事業実施後
担い手の集積面積（率）	〇〇a（〇〇%）	〇〇a（〇〇%）
担い手の集約化面積（率）	〇〇a（〇〇%）	〇〇a（〇〇%）
その他	導入作物を地域ブランド化しメディア戦略を展開 等	

事業の活用イメージ



事業の実施イメージ

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
ハード		・田の区画拡大	・田の区画拡大 ・暗渠排水	・営農環境整備支援	
ソフト	・条件改善促進支援			・管理省力化支援 ・品質向上支援 ・条件改善促進支援	・条件改善推進費

関連事業の概要

事業名	事業実施主体	事業概要	事業実施期間
		受益面積：〇〇a 主な工種： 総事業費：〇〇百万円	

農地防災事業の実施	〇〇〇事業	A、B
定額助成の費用負担の方法 (事業達成状況報告時のみ記載)	・総事業費(うち定額助成額〇〇円) 【総事業費(①+②+③)の内訳】 ①事業実施主体の支出額〇〇円 ②農業者の支出額〇〇円 ③農業者施工等(無償分)の金額換算〇〇円	
定率助成の費用負担の方法		
予定管理者・管理方法		
その他必要な項目		

- 注1： 地域内農地集積促進計画の変更及び実施結果の報告は、変更箇所には二重線を付し変更後の内容を追記する。
- 注2： 担い手の定義は、農業競争力強化農地整備事業実施要綱(平成30年3月31日付け29農振第2604号農林水産事務次官依命通知)に定めるところによる。
- 注3： 指導事業を行う際には、「事業実施主体」の欄に指導事業の事業実施主体を記入する。
- 注4： 農地防災事業を行う際には「農地防災事業の実施」の欄にその地区の関連事業を記入の上、次に示す区分に応じA又はBを記入する。  
A：防災A型(湛水防除、地盤沈下、防災ダム等) B：防災B型(ため池等整備等)
- 注5： 事業達成状況報告時には、「定額助成の費用負担の方法」の欄に総事業費、定額助成額、事業実施主体の支出額、農業者の支出額及び農業者施工等(無償分)を金額換算した金額について記入する。
- 注6： 地域内農地集積促進計画の作成に当たっては、事業実施主体が、集積見込農地一覧を作成して、集積見込農地を具体的に特定した上で農地集積目標を記載するとともに、事業達成状況報告書の作成に当たっては、事業実施主体が地域内農地集積促進計画に定めた集積見込農地に係る農地集積の実績を記載する。
- 注7： 事業の活用イメージは、事業の実施内容、受益地及び集積見込農地の位置がわかるように記載する。図面等がある場合は、計画に添付することで、事業の活用イメージとすることができる。
- 注8： 本様式は地域計画を作成している場合をもって代替することができる。

高収益作物転換促進計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体 〇〇〇〇 指導事業（〇〇）	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等
事業実施期間	/	地域計画の策定区域名	策定期間（予定）

農地中間管理機構による地域内（受益地内）の担い手への農地集積及び高収益作物への転換の推進に向けた取組方針

・事業実施区域（地域計画の策定区域）において事業実施区域の農地に係る担い手への集積面積を向上させるとともに、一部区域において実証展示ほ場の設置や加工品の試作・試験販売等を実施し、稲作から新たに〇〇に転換する等の農地中間管理機構による担い手への農地集積を図りつつ、高収益作物への転換に向けた取組方針を記載。

事業概要

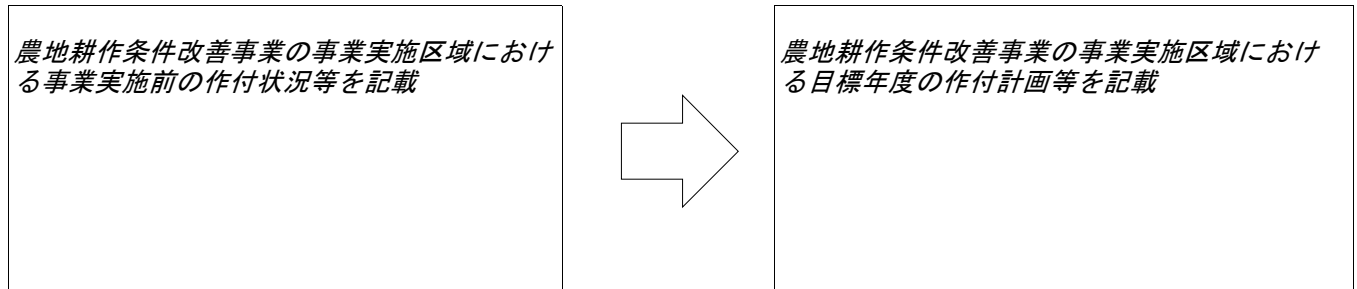
受益面積：水田〇〇a、畑地〇〇a、樹園地〇〇a  
 総事業費：〇〇百万円  
 受益者数：〇〇者

高収益作物転換に係る目標

高収益作物転換促進計画の目標年度：R〇〇年度

	事業実施前	事業実施後
高収益作物への転換面積（率）	品目：〇〇a（〇〇%）	品目：〇〇a（〇〇%）
担い手の集積面積（率）	〇〇a（〇〇%）	〇〇a（〇〇%）
その他	導入作物を地域ブランド化しメディア戦略を展開 等	

事業の活用イメージ



事業の実施イメージ

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
ハード		・畑の区画拡大	・田の区画拡大 ・暗渠排水 ・更新整備	・末端畑地かんがい施設 ・営農環境整備支援	
ソフト	・条件改善促進支援 ・高収益作物転換推進費			・管理省力化支援 ・品質向上支援 ・高収益作物導入支援	・条件改善推進費 ・高収益作物導入支援

関連事業の概要

事業名	事業実施主体	事業概要	事業実施期間
		受益面積：〇〇a 主な工種： 総事業費：〇〇百万円	

農地防災事業の実施	〇〇〇事業	A、B
定額助成の費用負担の方法 (事業達成状況報告時のみ記載)	・総事業費〇〇円(うち定額助成額〇〇円) 【総事業費(①+②+③)の内訳】 ①事業実施主体の支出額〇〇円 ②農業者の支出額〇〇円 ③農業者施工等(無償分)の金額換算〇〇円	
定率助成の費用負担の方法		
予定管理者・管理方法		
その他必要な事項		

- 注1： 高収益作物転換促進計画の変更及び実施結果の報告は、変更箇所には二重線を付し変更後の内容を追記する。
- 注2： 高収益作物 主食用米(備蓄用米を含む。)並びに経営所得安定対策等実施要綱(平成23年4月1日付け22経営第7133号農林水産事務次官依命通知)IV第1の1(2)の畑作物の直接支払交付金、IV第2の6(1)の戦略作物助成の対象作物及び砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律(昭和40年法律第109号)第2条に規定する作物以外の作物であって、主食用米よりも面積当たりの収益性の高いものをいう。
- 注3： 指導事業を行う際には、「事業実施主体」の欄に指導事業の事業実施主体を記入する。
- 注4： 農地防災事業を行う際には「農地防災事業の実施」にその地区の関連事業を記入の上、次に示す区分に応じA又はBを記入する。  
A：防災A型(湛水防除、地盤沈下、防災ダム等) B：防災B型(ため池等整備等)
- 注5： 事業達成状況報告時には、「定額助成の費用負担の方法」の欄に総事業費、定額助成額、事業実施主体の支出額、農業者の支出額及び農業者施工等(無償分)を金額換算した金額について記入する。
- 注6： 事業実施に当たり、水田活用の直接支払交付金の対象とならない農地となる場合、それを証明する資料を添付すること。

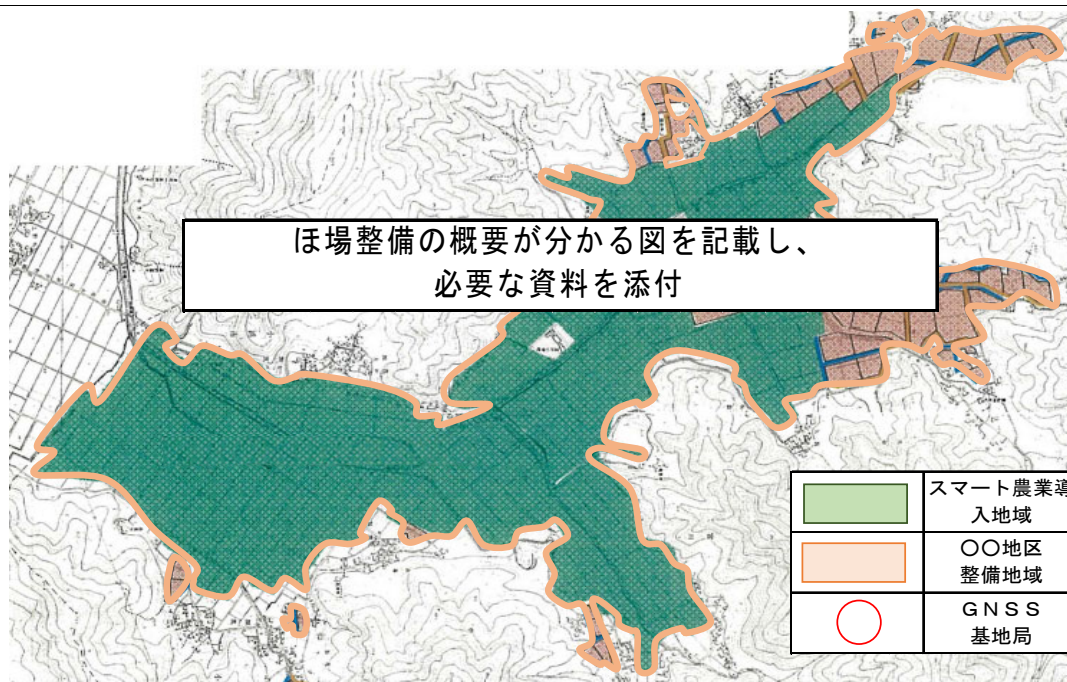
スマート農業導入推進計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等
事業実施期間	関連事業地区名	地域計画の策定区域名	策定期間（予定）

スマート農業に適した基盤の整備状況

<p>(例) 事業実施区域では、県営〇〇事業〇〇地区により〇〇haが標準区画〇〇haに大区画化され、また用排水路のパイプライン化とほ場内耕作道の設置により、ほ場間の移動をスムーズに行うことが可能な基盤が整備されている。本事業では、これに加え、スマート農業の導入に向け、各ほ場へターン農道を設置する。</p>		事業対象面積	〇〇ha	
		地区標準区画面積	〇〇ha	
		ターン農道整備面積	有or無or一部	
関連事業概要 〇〇地区	<p>受益面積：〇〇ha、総事業費：〇〇百万円、工期：R〇～R〇、主要工事内容：区画整理〇〇ha、暗渠排水〇〇ha、用排水路〇〇m</p>	ほ場内耕作道整備面積	有or無or一部	
		用排水路パイプライン整備面積	有or無or一部	
本事業の対象面積	〇〇ha	本事業の対象農家戸数	〇〇人	備考
うち担い手が所有する面積	〇〇ha 〇〇%	うち担い手	〇〇人 〇〇%	

導入するスマート農業の概要



(例) 事業実施区域内の〇〇haを対象にGNSS基地局を設置し、耕起や田植作業等に向けトラクタへ自動操舵システムを〇基導入する。

導入する省力化技術	導入対象面積	導入数	割合	活用農家数	管理体制
自動操舵	〇〇ha	〇基	〇基/20ha	〇者	全基、〇〇改良区が所有・管理
〇〇〇	〇〇ha	〇基	〇基/20ha	〇者	全基、〇〇改良区が所有・管理

地域の収益性向上の取組	
(必須) 高収益作物導入への取組方針	(例) スマート農業を導入する担い手〇名が、作業の余剰時間を活用し、近隣地域において園芸作物(トマト)を令和〇年度までに〇haで実施予定。
(任意) その他	(例) スマート農業を活用した更なる集積・集約の促進、6次産業化の取組、農産物のブランド化の取組等

事業の実施イメージ

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	備考
ハード	ターン農道設置 GNSS基地局設置	ターン農道設置	ターン農道設置			
ソフト		省力化技術導入	省力化技術導入	省力化技術導入		

注1: スマート農業導入推進計画の変更及び実施結果の報告は、変更箇所には二重線を付し変更後の内容を追記すること。

注2: 導入する省力化技術については、その機器に係る詳細な情報が分かる資料を添付すること。



共同利用機器導入計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	関連事業地区名
促進計画の区分	地域内農地集積促進型、高収益作物転換促進型、スマート農業導入推進型、病害虫対策型、水田貯留機能向上型又は土地利用調整型		

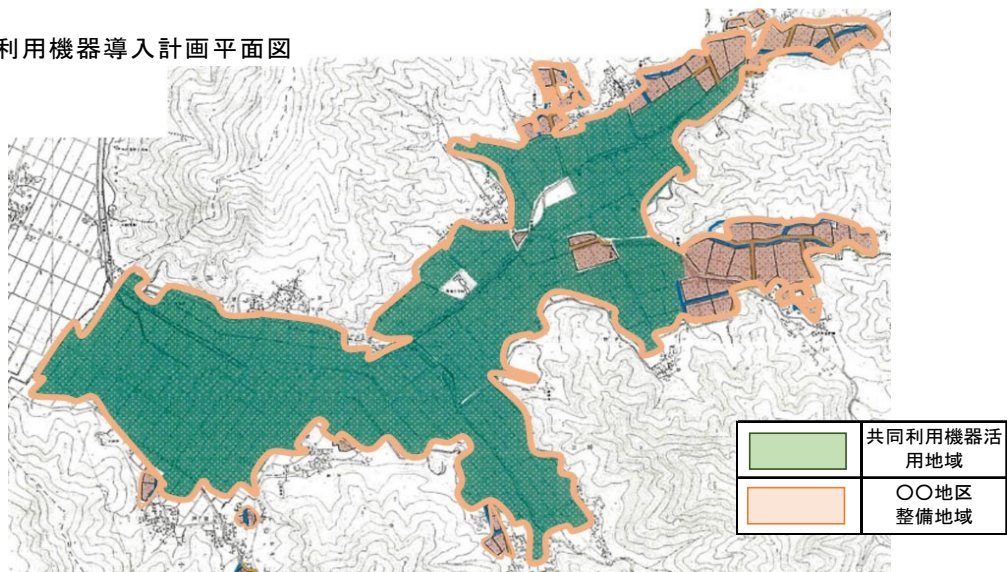
基盤の整備状況

（例）事業実施区域では、県営〇〇事業〇〇地区により、〇〇haにおいて標準区画〇〇haの大区画化ほ場が整備されている。本事業では、暗渠排水を設置するとともに、基盤整備後のほ場において高収益作物を含めた輪作体系を適切に維持するため、補助暗渠や均平、除礫を行うための共同利用機器の導入を行う。

関連事業概要 〇〇地区	受益面積：〇〇ha、総事業費：〇〇百万円、工期：R〇～R〇、主要工事内容：区画整理〇〇ha、暗渠排水〇〇ha、用排水路〇〇m
----------------	--

事業の活用イメージ

共同利用機器導入計画平面図



（例）事業実施区域内の〇〇haを対象にサブソイラー、レーザーレベラーを導入し、農業者〇〇名による共同利用で生産性の向上を図る。

導入する共同利用機器

No.	種別	機器名称	効果	台数	事業費	管理体制
1	湿害対策	サブソイラー	田畑輪作体系の中で本機器により本暗渠への水みちを適切に確保し、湿害防止と生産額の増を図る。	〇台	〇〇千円	〇〇土地改良区が所有・管理
2	均平	レーザーレベラー	整備される大区画圃場での水稻作におけるの用水供給のムラや畑における雨水の地表面滞留を防止し、生産額の増を図る。	〇台	〇〇千円	〇〇土地改良区が所有・管理
3						
合計				〇台	〇〇千円	

備考

機器導入の対象面積	〇〇ha		機器導入の対象農家戸数	〇〇人		備考
うち担い手が所有する面積	〇〇ha	〇〇%	うち担い手	〇〇人	〇〇%	



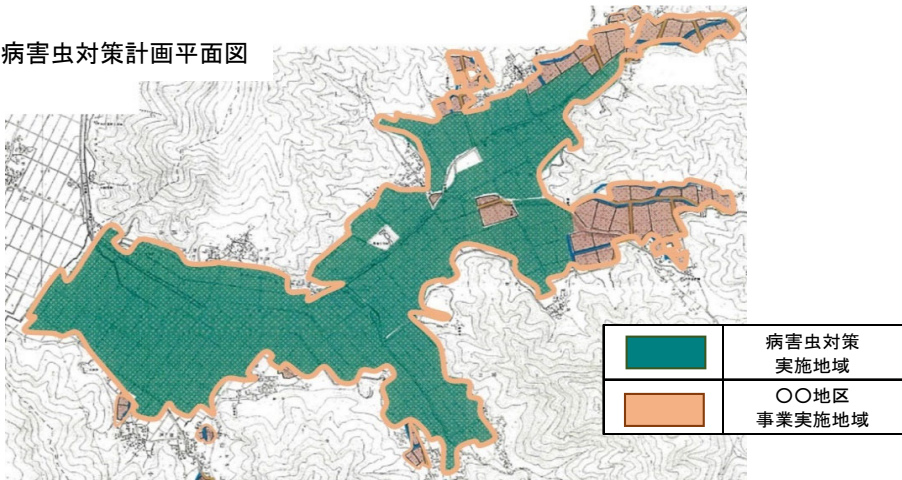
見込まれる作物生産の効果（高収益作物を含めた計画とすること）											
No.	作物	事業実施前				事業実施後				生産額の増減	備考
		面積	単収	単価	生産額	面積	単収	単価	生産額		
1	水稲	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	〇〇千円	
2	小麦	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	—	—	—	—	▲〇〇千円	機器導入後は作付とりやめ
3	たまねぎ	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	〇〇千円	
4	小豆	—	—	—	—	〇〇ha	〇〇t/ha	〇〇千円/t	〇〇千円	〇〇千円	
合計		〇〇ha			〇〇千円	〇〇ha			〇〇千円	〇〇千円	〇年間で〇〇千円
その他											

注1： 導入する共同利用機器については、その機器に係る詳細な情報が分かる資料を添付すること。

注2： 「見込まれる作物生産の効果」における単収は、地区内又は地区近傍の実績から、事業実施前には湿害や不陸など基盤整備後の良好な状態が維持されない場合に想定される値を、事業実施後には排水改良や均平等基盤整備による良好な状態が維持される場合に想定される値を記載すること。

注3： 「見込まれる作物生産の効果」における単価は、地区内又は地区近傍の実績から、適切な値を使用すること。

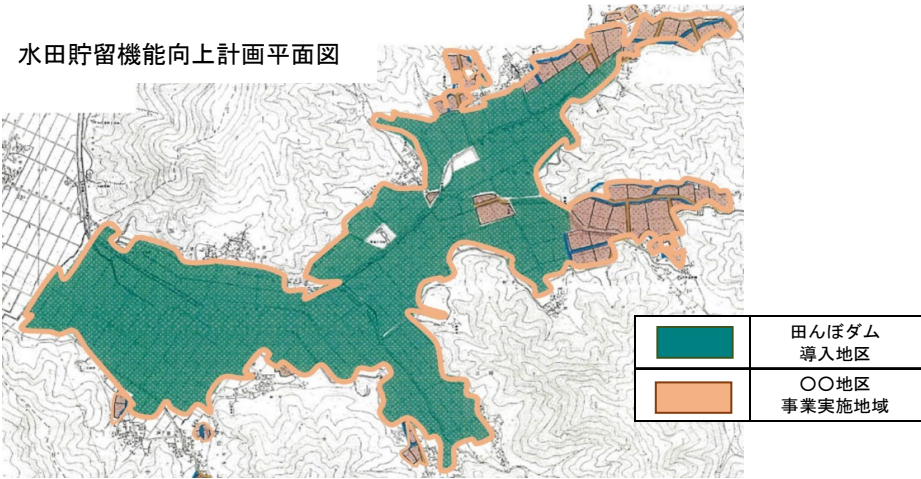
病虫害対策計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等			
事業実施期間	関連事業地区名					
<p>基盤の整備状況</p> <p>(例) 事業実施区域では、県営〇〇事業〇〇地区により、〇〇haにおいて標準区画〇〇haの大区画化ほ場が整備されている。本事業では、地域内農地集積促進型において〇〇の整備を行うとともに、病虫害まん延防止に向けて〇〇haにおいて土層改良を行う。</p>						
関連事業概要 〇〇地区	<p>受益面積：〇〇ha、総事業費：〇〇百万円、工期：R〇～R〇、主要工事内容：区画整理〇〇ha、暗渠排水〇〇ha、用排水路〇〇m</p>					
<p>病虫害の被害状況</p> <p>(例) 事業実施区域では、令和2年度よりサツマイモ基腐病が見られ、生産量の減少が見られるとともに、被害が地域内に広がり、〇haに及ぶ状況。</p>						
<p>事業の活用イメージ</p> <div style="text-align: center;"> <p>病虫害対策計画平面図</p>  <p>Legend:  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: green; border: 1px solid black;"></span> 病虫害対策実施地域  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: orange; border: 1px solid black;"></span> 〇〇地区事業実施地域</p> </div> <p>(例) 事業実施区域内の〇〇haを対象に土層改良を行い、病虫害の予防・まん延防止を図る。</p>						
<p>実施する工種</p>						
No.	工種	概要	効果	面積	事業費	備考
1	混層耕	耕起深〇cmの混層耕を実施	混層耕により、病虫害の発生した土壌を混ぜることで、病虫害のまん延防止を図る	〇ha	〇〇千円	
2	明渠排水	ほ場において額縁明渠排水を設置	排水不良となっているほ場の排水性向上により、病虫害の予防を図る。	〇ha	〇〇千円	
合計				〇台	〇〇千円	
<p>その他</p>						

注1： 「病虫害の被害状況」においては、被害の具体的な事例（生産量の減少率や、被害面積の大きさなど）を数値を用いて示すこと。

注2： 「事業の活用イメージ」においては、病虫害対策を実施するほ場をわかるように示すこと。

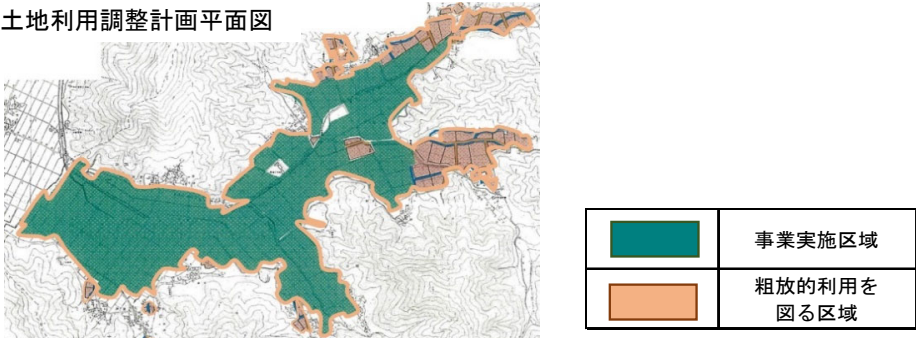
水田貯留機能向上計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等			
事業実施期間	関連事業地区名					
基盤の整備状況						
<p>(例) 事業実施区域では、県営〇〇事業〇〇地区により、〇〇haにおいて標準区画〇〇haの大区画化ほ場が整備されている。本事業ではこのうちの〇〇haにて田んぼダムを導入し水田貯留機能向上を図る。</p>						
関連事業概要 〇〇地区	<p>受益面積：〇〇ha、総事業費：〇〇百万円、工期：R〇～R〇、主要工事内容：区画整理〇〇ha、暗渠排水〇〇ha、用排水路〇〇m</p>					
見込まれる水田貯留機能効果						
<p>(例) 事業実施区域では、かつてより豪雨に見舞われ、水害の恐れのあるところである。このため、地区内の〇〇haにおいて田んぼダムを導入することで、下流域への排水を緩和し、豪雨時における洪水被害の防止を図る。</p>						
水田貯留機能向上に向けた施設の導入イメージ						
<p>水田貯留機能向上計画平面図</p> 						
<p>(例) 事業実施区域内の〇〇haを対象に畦畔補強、排水路整備を行い、水田貯留機能の向上を目指す。</p>						
実施する工種						
No.	工種	概要	効果	面積	事業費	備考
1	畦畔補強	〇〇haにおいて畦畔補強を実施	水田貯留に向けた畦畔補強を行うことで豪雨時の貯留を実現する	〇ha	〇〇千円	
2	排水路整備	〇〇mの排水路を整備する	排水路整備により、豪雨後の排水を速やかにする。	〇ha	〇〇千円	
合計				〇台	〇〇千円	
その他						

注1： 「見込まれる水田貯留機能効果」においては、これまでの水害などの背景も記載し、その効果についても定量的な数値があるならばそれらも用いて示すこと。

注2： 「水田貯留機能向上に向けた施設の導入イメージ」においては、水田貯留機能向上に向けた施設を導入するほ場をわかるように示すこと。

土地利用調整計画（事業達成状況報告）

地区名	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等			
事業実施期間	関連事業地区名					
事業の概要						
<p>(例) 事業実施区域では、現在〇〇haの面積のほ場があるがその一部においては耕作放棄地となっているため粗放的な利用が求められている。このため本事業では、粗放的な利用を行う農地については林地化を行うとともに、今後も農地として利用を行うところについては区画拡大等を行う。</p>						
関連事業概要 〇〇地区	受益面積：〇〇ha、総事業費：〇〇百万円、工期：R〇～R〇、主要工事内容：区画整理〇〇ha、暗渠排水〇〇ha、用排水路〇〇m					
地域の農地利用区分						
<p>(例) 事業実施区域を次のように区分する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産の維持・向上を行う農地 〇〇ha</li> <li>・粗放的な利用等による農業生産を行う農地 〇〇ha</li> <li>・鳥獣緩衝帯等の利用を行う農地 〇〇ha</li> <li>・林地化に向けた土地農地としての利用を行う農地 〇〇ha</li> </ul>						
事業の活用イメージ						
<p>土地利用調整計画平面図</p>  <p>(例) 事業実施区域内の〇〇haを対象に粗放的な利用に向けた整備を行うとともに〇〇haを対象に整備を行う。</p>						
実施する工程						
No.	工程	概要	効果	面積	事業費	備考
1	粗放的農地利用整備	粗放的利用に向けた用地整備、作業道設置	耕作放棄地となり今後林地化を行う整備を実施する。	〇ha	〇〇千円	
2	区画整理	ほ場における区画拡大	区画拡大による生産性の向上を図る。	〇ha	〇〇千円	
合計				〇台	〇〇千円	
その他						

注1： 「地域の農地利用区分」においては、地域の農地をア 農業生産の維持・向上、イ粗放的な利用等による農業生産、ウ 鳥獣緩衝帯等の利用、エ 林地化に向けた土地として区分すること。  
 注2： 「事業の活用イメージ」においては、地域の農地利用区分をわかりやすく示すこと。